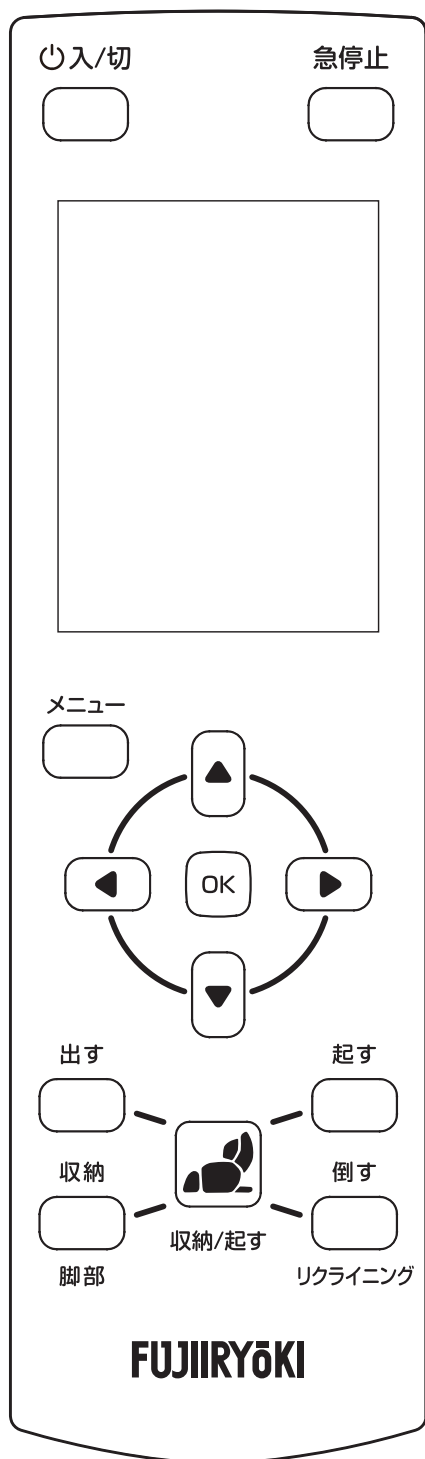


カンタン操作ガイド



- 枕を外して、椅子に深くお座りください。
- 背部と脚部をお好みの位置へリクライニングさせてください。
背部：リクライニングの^{倒す}で倒れ、^{起す}で起き上がります。
脚部：完全に脚部が出るまで^{出す}を押し続けてください。
収納するときは、^{収納}を押し続けてください。
- 腕部を使用するときは腕部を出してください。

おすすめコース

- 1 メインメニューから[▲][▼]で「おすすめコース」を選択し、^{OK}を押します。
- 2 肩位置の自動検出を行います。
※自動検出中は頭を背もたれ部につけるようにもたれてください。
※自動検出が終わるとマッサージ画面に移り、マッサージを開始します。

自動コース

- 1 メインメニューから[▲][▼]で「自動コース」を選択し、^{OK}を押します。
- 2 [▲][▼]でお好みのコースを選択し、^{OK}を押します。
- 3 肩位置の自動検出を行います。
※自動検出中は頭を背もたれ部につけるようにもたれてください。
※自動検出が終わるとマッサージ画面に移り、マッサージを開始します。

手動『基本技』

- 1 メインメニューから[▲][▼]で「手動『基本技』」を選択し、^{OK}を押します。
- 2 [▲][▼]でお好みの肩位置に設定してください。ボタンを離すとさざなみ動作になります。^{OK}を押し、肩位置を決定して、マッサージを開始します。

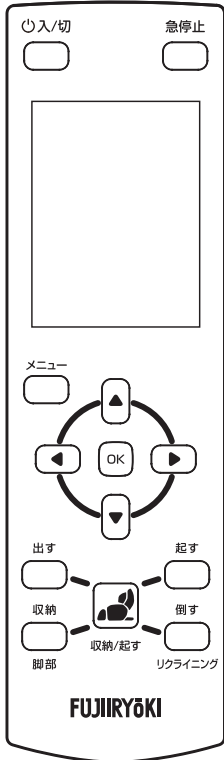
手動『肩腰専用技』

- 1 メインメニューから[▲][▼]で「手動『肩腰専用技』」を選択し、^{OK}を押します。
- 2 [◀][▶][▲][▼]でお好みのマッサージを選択し、^{OK}を押します。
- 3 [▲][▼]でお好みの肩位置に設定してください。ボタンを離すとさざなみ動作になります。^{OK}を押し、肩位置を決定して、マッサージを開始します。

- マッサージ動作中の調節は裏面をご参照ください。

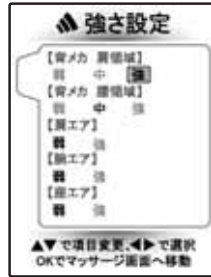
マッサージ動作中の調節のしかた

マッサージ画面で変更したい設定（「動作部位設定」「強さ設定」「肩位置設定」）を ◀ ▶ で選択し、OK を押します。



マッサージ強さを調節

▲ ▼ で設定を変更したい項目を選択し、◀ ▶ で好みの強さを選択します。
OK を押すとマッサージ画面に戻ります。



肩位置を設定

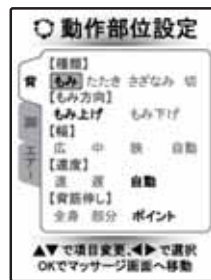
▲ ▼ で好みの肩位置に設定してください。
▲ ▼ を離すとさざなみ動作になります。
OK を押して肩位置を決定してください。



マッサージ部位を設定

▲ ▼ で設定を変更したい項目を選択し、◀ ▶ で好みの動作を選択します。
OK を押すとマッサージ画面に戻ります。
※おすすめコース・自動コースは、脚部のマッサージを設定できます。

【背もたれ部のマッサージ】



【脚部のマッサージ】



【エアーマッサージ】



ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 次の人は、使用しないでください。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人
(例) 血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎、皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む。)など
- (2) 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ● 心臓に障害のある人 ● 妊娠中の人または、出産直後の人 ● 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ● 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人
 - 体温 38℃ 以上(有熱期)の人(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期。衰弱している時。)
 - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、急性[とう(疼)痛性]疾患の人 ● 背骨(脊椎)に異常のある人
または、背骨が左右に曲がっている人 ● 捻挫、肉離れなど炎症性の人 ● 椎間板ヘルニア症の人
 - その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
- (3) リクライニングするときや脚部を出したり収納したり伸縮するときには、うしろや脚部の前、下など周囲に人やペット、物がないことを確認する。
- (4) 脚部を出したり収納するときは、脚部の下に脚や手をはさまないようにする。また、脚部の下に人やペット、物がないことを確認する。
- (5) ご使用前に背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破けていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。
(どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください)
- (6) 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- (7) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (8) お子様に椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (9) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
- (10) 動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼する。